

【別添】

令和8年5月29日

野球用品メーカー 各社 御中

一般財団法人全日本野球協会
アマチュア野球規則委員会
委員長 桑原 和彦



審判員の安全確保および暑熱対策等を講じた球審用ヘルメット等の
製品化に関する要望書

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素はアマチュア野球の振興に対し多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る4月16日に開催されたNPB（日本野球機構）公式戦において、打者のスイングにより手から離れたバットが球審の頭部を直撃し、緊急手術を要する極めて重大な事故が発生いたしました。当協会では、本件を重く受け止め、審判員の生命と安全を守るための対策を急務と捉えております。

事故防止の観点からは、球審のヘルメット着用が最も有効な手段となりますが、近年の猛暑下における審判員の熱中症リスクを考慮すると、現行の捕手用ヘルメットでは通気性や暑熱対策に課題があるものが含まれていると考えております。

つきましては、審判員が安全かつ心身ともに万全な状態で職務を遂行できるよう、下記の事項について早急な対応を要望いたします。

敬具

記

1. 現行の捕手用ヘルメットへの早急な暑熱対策の実施

重大な事故の再発防止は一刻を争う課題です。まずは、現在市販されている捕手用ヘルメットに対し、現行のSG基準を維持したまま、ヘルメット内の温度上昇を抑制する等の必要な暑熱対策を早急に実施することを要望します。

2. 暑熱対策等を施した「球審用ヘルメット」等の新規開発

熱中症リスクが高まることがないよう、優れた通気性等の十分な暑熱対策や審判員特有の所作への対応を施した上で、SG基準を満たした「球審用ヘルメット」および「ヘルメット一体型マスク」の新規開発を検討・実施することを要望します。

以上